



2024年3月14日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証プライム)
問合せ先 取締役 大内 秀雄
(<https://w-scope.co.jp/ir/contact.html>)

2024年1月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2023年5月11日に公表いたしました、2024年1月期(2023年1月1日～2024年1月31日)の通期業績予想と本日発表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

2024年1月期通期の業績予想と実績との差異 (2023年1月1日～2024年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	5,500	4,600	1,700	30.81
当期実績値(B)	48,043	3,865	4,600	939	18.69
増減額(B-A)	△1,956	△1,634	0	△760	
増減率(%)	△3.9	△29.7	0.0	△44.8	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	45,100	7,829	8,294	4,413	80.43

【通期業績予想と実績との差異の理由】

2024年1月期の連結業績につきまして、売上高は円安(対USD)がプラス要因となりましたが、車載用電池向けセパレータにおいて販売数量は増加しましたが一部モデルにおいて単価が下落したこと、民生用途において電動工具の電池需要が落ち込んだことや新規事業であるイオン交換膜の売上計上が約8億円来期以降にずれ込んだことから計画比1,956百万円減少の48,043百万円となりました。

営業利益につきましては、売上高減少に伴い生産数量を調整したこと等により在庫金額が計画比約20億円減少したため固定費を吸収することが出来ず計画比1,634百万円減少の3,865百万円となりました。

経常利益につきましては、受取利息として557百万円、米ドル建て債券債務の為替差益217百万円の計上や支払利息が491百万円減少したこと等により計画比増減なしの4,600百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、各子会社への出資比率(WSK100%、WCP36.23%)が異なるため、760百万円減少の939百万円となりました。

なお、当期は決算期変更の経過期間にあたるため、2023年1月1日から2024年1月31日までの13か月間となっております。前期は12か月であるため比較対象期間が異なりますが、参考数値として増減額及び増減率を記載しております。

以 上